

むすびネット

高知県のテレビ会議を活用した教育支援システムで、
高知大学教育学部と教育現場をむすびます。

1

Result.

教育

- 中山間校の授業に寄与します。
- 小・中・高等学校資料提供など、

高知大学と 教育現場を

むすぶ

テレビ会議システムを使って
教育現場と教育研究機関をむすぶ

教育学部が持つ教育資産を、テレビ会議システムを活用し、
地域支援、小・中・高等学校の授業支援、教員研修の支援などに役立てていきます。



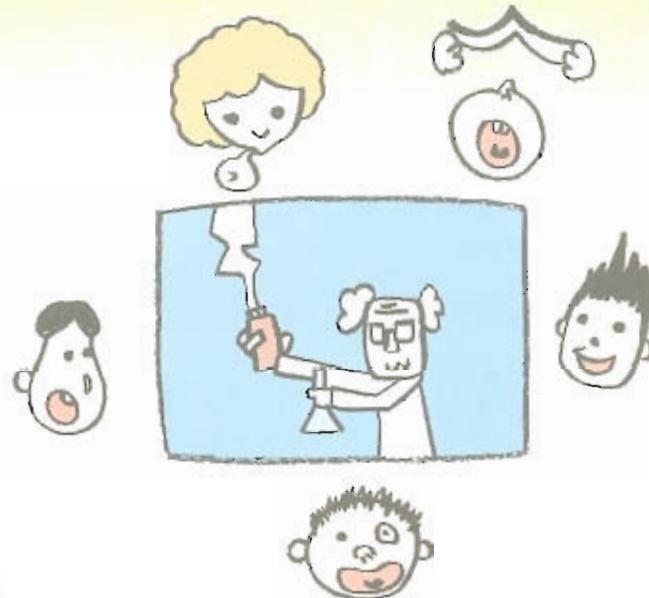
高知県のテレビ会議システム

公立学校の児童・生徒が授業等で日常的に交流し、幅広い意見にふれることで、学力、社会性などの向上をはかることを目的に、県内の教育機関を新情報ハイウェイで結んだネットワークシステムです。

教育現場をむすぶ

授業に遠隔参加し、意見交換しながら授業の拡充

各学校の遠隔授業に対し、コメント・アドバイス・
教育現場の悩みに応えます。



Result. **2**

研究成果をむすぶ

■10年経験者研修などの遠隔研修をはじめ、高知大学教育学部附属教育実践総合センター・附属学校や、遠隔地の県内教育研究センターと共同研究を推進し、高知県の教育力向上へ貢献します。



Result. **3**

地域とむすぶ

■大学の各種講座を配信することで、多くの人が地域の身近な小・中・高等学校で受講することも可能になります。

むすびネットへの期待

■福田 道則さん (高知県教育委員会情報教育推進課長)

このたび高知大学教育学部にテレビ会議システムを設置していただく運びとなり、当課として大きな期待を持っています。

まず、小・中・高等学校の授業への支援が可能となることがあげられます。テレビ会議を通して授業を評価してもらうことで、授業の質の向上が図られるで

しょう。出前授業も可能となり、教育実習に関する事前・事後指導を学校から受けることもできます。

さらに、何といっても教育学部の人的・学術的資源を、教育だけでなく様々な分野で地域社会に還元することが可能となります。このことは、本県の発展にとって大きな意味を持つものと考えます。

■市原 俊和さん (土佐市教育研究所研究教諭)

授業を前にした私に電話を下さった恩師の先生はひと言おっしゃいました。

「授業の王道を行きなさい」。授業の王道とは何なのか、今の私には未だに明確な解を導き出せないです。しかし、きちんとした指導案を書き、きちんとした授業計画をたてることこそが王道を進む第一歩

ではないかと考えています。

きちんとした指導案と授業計画の指導を受け、授業の王道を探求する窓口が、高知大学教育学部とのテレビ会議システムになるのではないかと、期待しています。

ぜひご利用ください

教育の場にIT情報技術を持ち込むことに批判がないわけではありません。確かに教育もある種のコミュニケーションだとすれば、顔を合わせ、膝をつきあわせることはとても大事なことだと思います。しかし、情報技術は距離と時間の壁を越える技術です。本県のような環境では、この情報技術のメリットを最大限に生かすべきだと思います。要は使う側の使い方の問題です。

「むすびネット」が高知大学の教育研究と県内の学校現場をより緊密に結びつけることによって、新たな取り組みが生まれ、「土佐の教育改革」と本学の教育研究がともに一層発展することを期待しています。



松永 健二(高知大学理事・副学長)

*「むすびネット」に関するお問い合わせとお申し込み先

高知大学教育学部附属教育実践総合センター

TEL・FAX (088) 844-8457 E-mail:aj42@jimu.kochi-u.ac.jp